

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-54)、
廃棄物管理施設(29)、MOX燃料加工施設(2-23))」
2. 日時：令和5年4月27日(木) 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安
全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規
制専門員
日本原燃株式会社 決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名
関西電力株式会社 原子力事業本部
プラント・保全技術グループマネジャー 他1名
東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループマネジャー
東北電力株式会社 原子力部 原子力技術 担当
電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年
12月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可
申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年4月26日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	毒を開始しました。
00:00:03	規制庁横山です。ただいまから、日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
00:00:09	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
00:00:17	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工比率について、4月26日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
00:00:26	規制庁側の出席者は本庁から古作。
00:00:30	上出岸野。
00:00:32	竹田。
00:00:34	田尻。
00:00:35	下藤原。
00:00:37	VEX出席者が、羽ばたき。
00:00:41	大橋山口。
00:00:43	となります。
00:00:44	それでは日本原燃から出席者の紹介と、議題の構成の確認、説明範囲、達成目標を説明してください。
00:00:55	はい。日本原燃庄野でございます。
00:00:57	日本原燃の出席者でございますが、開発側から、今村、あと関西電力の野本様、石黒さんの後、後はWebから決得が参加しておりますあと石原でございます。
00:01:10	はい。
00:01:11	本日の案件でございますが先ほどお話しした通り朝旭家のつもりでございますので、現状のステータスと今後の進め方ということについて、
00:01:23	お話をさせていただきたいと思っております。
00:01:26	そういう意味でIT部としていく本日でしましては共通12関係の話、あと、今後の進め方として資料出してますがMOXの案件の今後の進め方、
00:01:36	ある程度のスパンで、進め方をどう考えているかということ、あとは地盤設定に火事場モデルの設定に係る今後の説明事項という関係でございます。

00:01:46	それぞれ、今後の進め方の考え方であったり方針であったりということについて、
00:01:55	我々としてはこうやってやっていきますというつもりでご説明しますが、方向性だったりずれがないかということの確認をさせていただければと思っておりました。以上です。
00:02:09	規制庁横山です。それでは最初の議題に進みます。当該資料事前に確認していますが、日本原燃の方から説明がありましたらお願いします。
00:02:21	はい、売り上げ燃焼度ございます。共通 12 関係でございます。資料、4 月 26 日前月になってます。申し訳ございませんでした。
00:02:31	資料としては今後、供給にはもう内側で骨格を作って仕上げていくというときの考え方を整理したのになります。基本的にやりたいことは、以前、
00:02:46	お話をさせていただき、よりこれ共通 12 を使わなくても本来は各条のレベルを、ルールに基づいて考え方に基づいて目的を達成できれば本来であれば説明し切れると。
00:02:58	思ってますがそれを形を変えてということで恐縮ですけども、設備の設計が業績を市の設計方針に基づいてしっかりとやられてるということをおあれとして説明責任を果たすということで資料を、
00:03:13	売っていきますということの、たてつけなり何なりを整理をさせていただいております。
00:03:19	あと申し述べるところとしましては右下 3 ページとかで前回まで最初見てやっていた資料がですね、別添 3 とか別添とかで、別紙 1 とかいろいろと
00:03:31	考え、非公開力は違う順番に資料が並んでいるところもありますので、やりたいことの思考回路に沿った、資料の順番なりに修正をしましたということと比較して示しております。
00:03:45	ということでございます。
00:03:47	はい。
00:03:48	やりたいことは単純に書いた通りです。資料設備を配る設備を、基本設計方針への設計方針の説明の分類に合わせて、
00:03:59	整理をし、上に対して基本設計方針添付書類を設けながら、設計方針通りがあり、設計ができているということの説明をさせていただくという趣旨で、

00:04:10	今後共通中にはまとめさせていただこうと思っております。
00:04:14	唯一あるのは、ですね、ここに書いたかな
00:04:20	資料でいきますと、
00:04:22	右下2ページですかね、救助の目的のところの3ポツ目でございます。
00:04:27	MOXにつきましては新規制基準以前に、別府工認をすべて認可替えられていないということとすべての条文に対する適合性に対して認可がやられてないということも踏まえまして、
00:04:39	すべてを土壤に乗せて抜け漏れなく適合性のため御説明を行わさせていただくということ。
00:04:46	一方最初につきましては変更申請であるということ踏まえて既認可から変更が生じているものの設計に対して、これも同じく、すべての対象になるものをちゃんとテーブルに乗せて、
00:04:57	抜け漏れなく適合性を説明していくと、いうことをネットにそういうことを目的が達成できるように、資料を今後整理をして説明をさせていただこうと思っております。
00:05:08	はい。
00:05:12	主な説明点は以上でございます案と、あとはそうですねすみません、6ページ、右下6ページ右下8ページが先ほどすべてをテーブルに乗せて説明するといった黙祷。
00:05:25	変更点をやると言っている最初との差分のところをずらし置いてるのが6ページ9ページのところでございます。
00:05:32	これも沢庵では、抜け漏れがないこと、説明すべき項目を抜けないことということ念頭にしっかりと整理をさせていただこうということと、
00:05:42	抜け漏れがないことの説明性
00:05:45	保全、
00:05:47	説明以上でございます。
00:05:52	規制庁横山です。それでは規制庁から当該資料について事実確認をお願いします。
00:05:59	あと、古作ですけど今9ページって言われましたけど8ページですか。
00:06:05	失礼しました。日本ギリシャで5、8ページですごめんなさい。はい。
00:06:11	古作ですけど、
00:06:16	正直、この資料を前日に見て、方向性をさっととりあえず確認した上で、次の資料でちゃんとその方向性を確認していきましょうねと。

00:06:28	というような資料としてはとても見えなくてですね。
00:06:32	一方で一色ちゃんと作ってみたいなところ、もう踏まえながら表面だけという意味であれば、14 ページ以降に、
00:06:45	記載例という形でついていて、
00:06:51	これがとりあえず出てきてて
00:06:59	従来からの違いが何かみたいなところを刺さって話をされてこういう方向ですっていうふうに説明される。
00:07:06	なんか大本に、
00:07:08	意識だったと。
00:07:10	ということなんですけど。
00:07:18	もうちょっとかみ砕いて言うとそれまでの13 ページ。
00:07:24	13 ページまでの資料が妙に手厚くて、何を言ってるかわからないということなんです。従来の共通12の本文で書かれていたことっていうのを、繰り返し書いている部分と、
00:07:39	変えてる部分と、
00:07:41	あってですね、それが何でかって言ったところが、いまいち石原さんの説明で10分、
00:07:49	吸収できてないのかなと思ってます。
00:07:58	まずこの13 ページまでの話は、
00:08:01	次回は共通12の本文でしっかり書き起こしていきますという、
00:08:06	ことでいいですか。
00:08:10	はい。日本原燃石田でございますはい。説明がつかなくて大変申し訳ございません。はい。おっしゃっていただけてる通りで、今日鳥居の本文に考え方、目的も含めて、
00:08:20	記載をさせていただくことで考えてました。
00:08:24	はい。補足です。
00:08:28	2 ページの最初の共通12の目的っていうのも、基本的にこれまで話してることと変わらないと思う。
00:08:36	でて、それを文書化するのに悩まれているということと理解をしましたが、す。
00:08:44	一方でその二つ目のポツのシステム設計構造設計配置設計があって書き分けてるのが、何か後ろのページを見ても、従来のことから違うことをやろうとしているかのようにも見えるんですけど、

00:08:57	その辺りはどうなんですか。
00:09:02	はい、二本木西田でございます。はい。従来とやることを垣内守山先生としてありませんということでございますがおっしゃっていただいているイメージとして
00:09:14	確かに最初にずっと説明すべきは再処理が変更ということもあって構造設計、具体的に改造したところとかですねそういったところに着目して説明をしてました。
00:09:24	ただ設計と言われると、システムのシステム設計から始まって、具体の設備の構造設計あと設備ごとの配置設計そういったものを、すべて設計として整理するというのが、
00:09:37	必要かなということでそういった分類で今整理をしていこうと思っているということでございます。はい。
00:09:48	古作ですけど、
00:09:51	システム設計と言われるものは、構造設計には関係しない。
00:09:57	構造設計で間書くものは設置システム設計としては関係しない。
00:10:02	配置設計とも関係しないと。
00:10:04	綺麗にこれ三つに分かれるもんですか。
00:10:12	規制庁の田尻です。日本原燃シェア。
00:10:16	規制庁有井です。ちょっと再処理はどういう意識だったかなんですけど、前まで最初には構造設計として示してるものっていうのは、
00:10:24	ちょっと系統の考え方入ってなかった気はしますが配置設計っていう意味でいうと別に飛来物の関係だって配置で建物がどうこうとかも配置設計じゃ配置設計だったりしたと思うんですけど、
00:10:35	今回この三つに分けて後ろの方の表もシステム設計等構造設計配置設計でそれぞれ評価項目実はついていてわかったような気がするんですけど。
00:10:44	ここっていうのはそれぞれ分けてやると、何かメリットがあるとかそういうのを何か考えられてでき、
00:10:56	はい、弓削ね。
00:11:00	僕は駄目だ。阿比留。
00:11:04	はい。逃げ列車でございます通信の状態があまりよくない。大分かぶってますけどはい。

00:11:10	まず、古作さんおっしゃったようにシステム設計構造設計配置設計それぞれ、設計として何のリンクもないのかということについては、
00:11:22	何のリンクもないとは言い切れないというふうに思ってます。リンクをどこかでするものだと思う。
00:11:29	実際これが、谷井さんのこれをやることに何か利点があるのかというて、
00:11:36	衛藤。
00:11:38	我々まず考えたのは基本設計方針添付書との紐づけをやろうとしたときに、基本設計方針の整理をする中でですね、頭の中で分類をしてしまってるんじゃない、しているんじゃないかなということを念頭に、
00:11:52	いわゆる機能要求①であれば、システム設計のことを言っている、設置設計
00:11:59	設計要求であれば配置設計のことを意識しながら書いてる、機能要求までにやれば構造設計のことを意識して書いているというそれぞれの要求事項の種別を分類するときに、
00:12:10	すでにこういうことを意識して機能設計の設計をしないCAPE処理を分解してるんじゃないかなということを考えて、それとの紐づけをするために、こういう分類をしました。
00:12:20	ただ実際設計をしたときにどうかと言われると、系統設計をする中でのそれぞれのパーツがあってその機能があっての結果、やはりあの機能だという説明もしないといけないところを考えると、
00:12:33	お互いにリンクをすと思ってますので、そういったところは整理をさらにさせていただきたいと思います。以上です。
00:12:44	古作です。
00:12:46	田尻が言ったところですけど何か意図があって分けたほうがいいんだということであれば、分けるところが適切であればそれはそれでいいんですけど、そこはどうなってます。
00:13:09	はい、日本ネシアでございます。はい。報告をおっしゃっていただいてそれぞれの会長ごとに、クリアランスの話をするというときに、とりあえず配置設計加工クボテックが分けたことによって何か利点があるかと。

00:13:23	いうことについては、今は不動設計の中で、そのクリアランスを確保するという、それは変位も含めてそういったものを確保するんだということ、
00:13:34	構造設計の中で説明をしようかなと思ってましたが、
00:13:37	それが起点なのかということだと、何らか説明はなくなってしまう気がだんだんしてきましたんで、
00:13:48	当社の設計をどういうコンセプトでやっていくのか、何が達成しなきゃいけないのかというのをしっかりと説明するというのが、もともとの目的ですので、分けることが目的ではなく、
00:13:58	そこをしっかりと念頭に置いて整理をして考え方を整理態度を考えたいと思います。以上です。
00:14:06	古作です。配置設計については最初の時も言っていてですね、個別の構造というよりは屋内なのか屋外なのか或いは
00:14:18	別の区画に設置するということなのかということで、構造設計の説明の図では説明しきれないと。
00:14:27	いうものについてどういう説明をしたらいいかということで、分けた方がいいでしょうということで今回出されたのかなと理解をしていたんですけど。
00:14:39	その線引きがまだ十分整理されていないようなことで、そういったところを考えていただきたいと思います。
00:14:47	もう一つ系統設計、システム設計課っていうのを挙げられたんですけど、これも設備というよりは設備の繋がり一連の機能を達成すると。
00:15:00	いったところの一連の状況どう説明をするかと。
00:15:05	いうことであってね構造設計ということでは説明、
00:15:11	しづらいと。
00:15:12	いうこととは理解をして実はいるのです。
00:15:17	なので、その点でちゃんとすみ分けをですね、考え方をぶれないようにしていただきたいと。
00:15:25	いうふうに思います。
00:15:30	その上で微妙に、先ほどのクリアランスもそうですけど、関連してくる部分もあると思うので、クリアランス自体は、
00:15:40	この設計で説明されるの方がそもそも、どの程度の変位を許すのかっていったところに構造設計のポイントがあって、なので

00:15:50	そちらでやっていただきたいと思うんですけど、
00:15:55	その関連する場所を、この部分はこっちで対応しますよというようなことを明確にして、抜け漏れのないようにするっていう配慮が必要だと思う。
00:16:06	ですね、それでいいますと、ちょっと後の記載例だとわかりにくいので、
00:16:14	と7ページでしたかね、例示として、基本設計方針からどう設計分類をCっていうことがあって、
00:16:24	ここで一番下のものだと、換気設備についてシステム設計で説明することと、評価で説明することと分かれています。
00:16:35	ということなので、ここですね、関連するものはこちらの方でこういうここまで説明して、残りの部分はこちらで説明しますと。
00:16:47	というようなことがわかるように整理をいただくと、こちらとしても、抜け漏れがないかのチェックもできるし、何をどこで見ればいいのかっていうのもクリアになると。
00:16:58	ということかなあと見てたんですけど、そういうことで配慮いただく。
00:17:08	はい、弓削西様でございます。はい。おっしゃっていただいたように当然その設計の範囲であったり、紐づけ品種があるものというのを、
00:17:18	明確にして、抜け漏れがないようにということをやるとするのは念頭にございましたので、資料の中でそういうことがちゃんと紐付けがされているということもわかるように、整理をさせていただきたいと思います。以上です。
00:17:32	規制庁の田尻です。若干関連するんですけど今、例えば40ページとかのところで、ここだと多分システム設計の話が書かれていて今日の考え方を浅井生でもやってたように設計方針あって添付があってそれから、
00:17:49	今システム設計とか個別の設計の話に落としてって形だと思うんですけど、もれなくって言うふうに言った場合にこの基本設計方針とか添付の部分で、どこの部分をどっちで抜いたとかっていうのはさ、さっきのところと関連づけて見ればわかるようになってるんですかね。
00:18:03	とかいっぱい控えてるのはわかってたんですけど。

00:18:09	はい、弓削ね仕様でございますはい。添付書類含めて、必要な箇所をし、設計システム設計なり構造設計ないというところで、番号づけをしながらより劣って抜けがないことということの、
00:18:22	詰めをしようというのを念頭に思ってますので、ここで他の設計に飛ばす場合には、ナンバーについたとか、こちらで構造設計側で説明するんだというようなことで、
00:18:33	対象に抜けがないようにということを配慮して整理をさせていただきたいと思ってます。
00:18:39	はい。規制庁鳥居です今おっしゃられたように要は下線引かれなところは別のところですよっていうんだったら逆行に行っちゃんと全体は網羅していて他のところで書いてるわけねってのがわかったり、この部分は両方に絡むのでこっちで町でもですとかっていうのがいろいろあったりするとは思うので、
00:18:54	ぱっと見抜いたのか抜けないのかわかんないっていうことにならないようにと、あと1部分だけどこにも落ちませんでしたっていうふうにならないようにだけご検討いただければと思います。
00:19:06	はい、二本木石田でございます。はい、ありがとうございます。
00:19:12	古作です。今の点ですすねどう見たらいいんだということなんですけど。
00:19:18	3ページ
00:19:23	従来から資料の構成変えますよという話があってちょっとしばらく共通中のヒアリングもう止まっていたので、思い出せないですけど、
00:19:34	改めたところと言うところの、資料1(1)というのは、整理結果ということで累計全体像を示す、ある意味目次的な、
00:19:46	ものと、
00:19:48	ということで、(2)がそれに対してどうぶら下がっているのかの舞台、
00:19:54	を入れるところと、
00:19:57	いうのではよかったですかね。
00:20:03	はい、弓削市田でございます。はい、ありがとうございます。私が説明しないといけない
00:20:08	ということですよ。はい。
00:20:10	はい。
00:20:13	物体でいうと、

00:20:19	と（イ）
00:20:21	違な投資で、
00:20:25	言うと、
00:20:26	どこにあるんです。
00:20:33	資料1の（1）、例示として16ページから、条文いくつをつけております。はい。古作です。
00:20:43	これってですね。
00:20:46	かなり見つらいですよ。
00:20:49	で、
00:20:52	目次的にこれ本当になってんのかっていう感じがしていて、
00:20:56	そもそももう、
00:21:00	AとかB123Cといって、説明のレベル感、説明するポイントというのを整理はしているものの、
00:21:10	共通12の、この後のカッコ23といったときに、どこまでこのAとかB123Cっていうのが関係してくるのかと。
00:21:21	というのはどうなってるんですかね。
00:21:28	はい。乳井西浦でございます。はい。そうですね。そこは確かに基本はとなったら、基本関係する条文はすべて説明しますということで、
00:21:41	そこでおっしゃるように抜けがないよねっていうところがまず一つ。
00:21:46	あと、B2Cとかのやつは、次の資料2とかにすると何か意味があるのかというと、
00:21:52	条文単位で、そのB、B-1に入っているうち対象物がこれですというのを、
00:21:59	先ほどの資料2でいく等設備。
00:22:04	設備分類。そうだな。だから、本が出てきますけど最終的には設計説明項目と条文幾つか跨いで、さらにグルーピングをしているので、
00:22:16	うん。
00:22:17	はい。補足です。ですね。結局はで整理したもの。
00:22:25	同じグループ接設備分類っていうかグループになるものという中で、Bに該当するものであればそれのうちこの部分だけが説明。
00:22:36	事項になりますよと、限定されるだけですよね。
00:22:41	はい。

00:22:42	はい。はい。補足です。で、特に MOX の場合はそれを限定せず 2 一通りやりますよと言って、
00:22:50	いるのが、ME の最初のページの説明だとすれば、あまりこの分類を無理に、頭からドンと帰ってやらなくてもやらなくてもというか、やらない方が、
00:23:03	説明として筋が通るんじゃないかなと思ってのんです。
00:23:07	一方で、これまで会合でもそういった分類をして整理をして、ポイントを突いてやりましょうねということからすると、
00:23:17	ちょっと具体的方行ってから戻って恐縮ですけど、5 ページにですね。
00:23:21	表で縦軸で AB 値 23C と書いてあるんですけど、
00:23:27	これ縦軸は、B の分類ではなくて、今の機器のグループを単純に並べて横軸 2A、B ワンツー III、
00:23:38	と書けば、
00:23:40	どういう分類について江田幾つあります B で幾つありますと。
00:23:45	ということがわかって、D 代表としては A でやるなら A でやってその内数に B が入ってるかどうかと。
00:23:52	いうふうな見方をすれば MOX は成り立つんじゃないかと思えますけどいかがですか。
00:24:00	はい、二本木西浦でございます。はい、ありがとうございます。
00:24:05	おっしゃってたように同じ分類同じ項目に入るものを、
00:24:11	グルーピングして、代表で説明をしていくという整理、もうししていると思ってますんでおっしゃっていただいているように、B2、2、
00:24:20	季 2 ですかね、にも同じようなものが入っていればそれはどちらで扱うか、これは A の方でやれば全部包含できますよねみたいな定義をできると思えますので。はい。ありがとうございます。もう少しそこも含めて、
00:24:34	整理を進めさせていただきます。
00:24:37	はい、古作です。その縦軸が、結局は資料 2、
00:24:45	じゃない、資料 3 の、
00:24:50	(1) (2) (3) でそれぞれグループとしてまとめて説明されると。
00:24:56	ということだと思っ
00:24:58	てるんですけど、認識合ってます。
00:25:05	はい、弓削根井手話でございます。はい。

00:25:09	我々の説明として今おっしゃってた7ページのところにある資料2の
00:25:16	真ん中にですね今言っている分類額の話が入ってまして、どうやって説明していくかって話なんですけど9ページのところに来る前にですね、
00:25:26	例えばグローボックスの構造設計を説明しますという、例えば閉じ込めの条文で分類したものだけではなくて、耐震とかのSクラスの設計の話をしてますとか、
00:25:39	あとそれ以外にも材料構造の話をしてますと、例えば、
00:25:43	なので、グローボックスの構造設計を水室を説明するために必要なものを全部、さらにグルーピングしようかなということで、7ページのところの一番右側に設計説明分類っていうのを作ってますこれが
00:25:55	資料3の分類のところに来ると、9ページのいう設計説明分類って相手とかですね、ここに展開されるということで今整理をしてました。
00:26:07	古作です。どんどんと飛んでいたの、追い切れなくなったんですけど、5ページの縦軸、先ほど整理するものと、
00:26:18	今言った
00:26:20	7ページで言うところの類型分類ということ、さらに、一番右の設計説明分類ということってというのはどういう関係にあるんですか。
00:26:31	はい。乳井一章でございます。さっきの資料1の(1)でやった分類がこの類型分類のところに、相当します。
00:26:40	類型分類に対して基本設計方針ごとに設計として何を説明しなきゃいけないか、こういった設備が入っているかというのでさらにここで、
00:26:51	条文を跨いでグルーピングできないかなと思っていてそれがこの右側にくるグローボックスの構造設計と言っているような、設計説明分類と、
00:27:03	いうところになります。このグローボックスの構造設計という設計説明分類の中には、次、取り込みの条文だけじゃなくて他の条文の文のグローボックスの構造設計に関わるような、
00:27:16	基本設計方針の展開も全部合わせて、
00:27:19	それが79ページの構造設計でいけば、設計分類(2)構造設計の設計説明分類(2)の1、
00:27:32	グローボックスの構造設計というところに入ってくるということで、構造設計、やっぱり入ってくるということということで、考えておりました。

00:27:49	ちょ、
00:27:50	等を差配をするとですね、
00:27:55	類型としては、類型分類から何か変わるわけではなくて、
00:28:00	その類型の中で説明すべきことというのを、ピックアップし、それを条文ごとと言いながら条文まとめて、
00:28:12	束ねていきますという用語として一番右の欄を、
00:28:16	書いていると。
00:28:17	いうだ形のような、
00:28:21	気がしたんですってサイクルと、他の条文だって類型分類同じのが書いてあってっていうだけですよね。
00:28:30	はい。ただ日本原燃石原でございます。
00:28:35	前野。
00:28:37	再処理んときも、
00:28:39	言いましたが、資料で言うと 25 ページですね。
00:28:45	ええ。
00:28:46	2、それぞれの条文ごとに丸番号がついてますこれは先ほど、B で、結局ここはI-B もよくわからなくなって合体される分類になるので、
00:28:56	これが基軸になると思ってますが、第 5 条でいけば安全機能有する施設の地盤だったり第 6 条の地震があってその中に①S クラスとありますがこれ
00:29:07	この分類は、先ほどの、
00:29:12	26 ページで言う閉じ込めの①番のグローブボックスこれも当然ながらその内数に入っているというものもありますというようなことを、分類額を跨いで、
00:29:24	グローブボックスの閉じ込めの方の構造設計としてまとめて整理をしていくこといったら、さっきの設計説明分類になります。
00:29:38	古作ですけどちょっと何か欲張ってるような欲張ってないようなよくわかんないんですけど、
00:29:43	今の説明で使われた 25 ページ。
00:29:49	以降を見るとですね。
00:29:55	同じ用語条文ごと変えているものはほとんどないわけですよ。
00:30:02	なのに、束ねられますと言われても、
00:30:05	何を言ってるかわからなくて、結局、インターか、

00:30:11	グルーピングした、例えば今言う話なったグローブボックスと、
00:30:15	いうもののうちSクラスのだったり、何、何々のってというような修飾がつくのかもしれませんが、
00:30:22	そのグループについて、第4条では①に相当するものです。第五条では③に相当するものですみたいなところで、
00:30:32	当てはめをしていくと。
00:30:35	いう。
00:30:36	ことだけなんじゃないかと思ったんですけども、これを要望として合わせますみたいなこと言われると結局、各条の何の話だかってわかんなくなりませんか。
00:30:53	はい、日本で西浦でございます。はい。そこ、基本設計方針、書類の見解を元に、
00:31:02	構造設計としてあるべきものを整理をして説明していくと。これがおっしゃっていただいたようにわざわざこんな分類をまとめなくても、耐震でいうSクラスの説明です。その設置なくとも、
00:31:16	耐震確保という説明をしているのと、何ら変わりはないと思っておりますが、その整理が、
00:31:26	させていただきますグローMACCSっていう設備を見たときに、どういう設計を考えなきゃいけないのかっていうのをまとめて示した方が、
00:31:37	説明の関係性とか相互関係も含めて示しやすいかなと思って、そういう分類額を持ち込んだというのがもともとの考え方でございました。はい。規制庁の谷です。
00:31:49	整理したいんですけど、21ページから、1の(2)外停電は22ページから具体例がいて、今ここ例えばある施設があったら、閉じ込めだったら、分類
00:32:01	でマル何番とかさっきのやつ。
00:32:05	それぞれの所
00:32:06	においてこういった位置付けのもの
00:32:08	にしなきゃいけない。
00:32:12	俺の横軸に名前をつける。
00:32:18	はい、二本木西浦でございます。横軸にプロジェクト入戸でな分類した名前をつけている、要は右で見たときに、

00:32:30	大丈夫、こんな感じじゃないですけど、グローボックスってBとこ全部グルーピングして見ていくと犯せ分類の同じ番号が入ると。
00:32:39	ということになれば、それを束ねていけば一つの固まりとして説明できるということの整理ができないかなと思ったのがこの、
00:32:47	考えたことでした。
00:32:50	規制庁田尻ですってというのは、何かイメージそっちだと何かイメージはわかる気がするそれと、
00:32:57	ページの中の右端の欄が何かすぐに結びつかないんですけど、
00:33:04	今、例えば7ページで、グローボックス数の配置設計とかっていうのがいるんですけど、これさっきの表のところに、どうやって
00:33:24	はい握り者でございます。はい。ちょっとそこをもうちょっと詳しい何をどうを整理して、こうに帰着してるのかっていうのをちゃんと整理をしたいと思います。
00:33:35	配置設計システム設計構造設計というのは基本設計方針を規定にして分類をしているところもあるので、それと設備目線で、その条文との関係性、
00:33:45	と言って、1の(1)でやっている分類とのか、相関ですね、それを抜け漏れなくできているもしくはどういう関係性にあるかっていうのを、整理をしてお示しをしないといけない
00:33:57	と思ってます。あとは本当にこれを一番最後の設計説明分類っていうのを作らないと説明できないのかということも含めて、先ほどの言っていた最初の下、資料1の(1)の、
00:34:10	分類のさばき方を、
00:34:12	持ち込んだ条文との紐づけをして整理をしていくということもできると思いますので、そこも含めて、説明性が上がるように整理をさせていただきたいと思います。以上です。
00:34:26	古作です。田尻が言うようにですね、下22ページからの
00:34:35	これ、1(2)ですかね。
00:34:37	の中で、同じ各条の付番になると。
00:34:42	いうものについて束ねますというのはこれまで話していた通りであって、
00:34:50	付番のグループを指すのに適切な、

00:34:55	集合体の名称をつけますということであればそれは理解はできるんです。
00:35:01	で、ただそれがどれだけの量になるかということにもなるんですけど、例えば、これのうちの1条文だけちょっと違うんですと。
00:35:12	いう時に、完全に二つ分けて説明しますかと。
00:35:17	言うと、
00:35:18	そこは枝分かれで場合で表現してもいいんじゃないかっていう、
00:35:23	こともあるような気がするんですよ。
00:35:27	というところも含めて考えて、どういう名称で枠をとり
00:35:33	説明していくかと、これの2の方の紙になりさんなりの資料を行った時にどうまとめていけるかと。
00:35:42	ということになると思うので、整理をしていただきたいと思う。
00:35:48	ます。
00:35:49	で、それがわかりやすいようにですね、していただきたいなど。
00:35:55	ということですね。はい。
00:36:00	はい。配布しとっていただいているように分類額をいろいろと何回も持ち込んで、縦を横に変えて、横斜めに書いてってやると、何をやってんのかよくわかんなくなるという気持ちも確かにありますので、
00:36:15	最初に決めた分類は、ある種、記述にあってそれで定義をして説明をしていくと、いうことが一番売れずに深く関係性もわかりやすく、それが、
00:36:27	今言っている資料22ページとかの表等を上手く結びついているというのは、かつ抜け漏れがないことがわかるというのが一番シンプルでわかりやすいと思います。ノーって、
00:36:37	そういった説明性というところも含めて整理を再度させていただきたいと思います。以上です。
00:36:44	はい、補足です。
00:36:47	それで言うと
00:36:50	あと1(2)の表がでて、そのグルーピングですというふうに言うのが入口にあった上で、ここの部分にそれを書きますよと。
00:37:00	いうふうに言っただけであればまずわかりやすい。
00:37:08	それが

00:37:09	最初に出てきちゃったから、混乱したっていうことだと思うので、その点での説明を、例えば先ほどの、
00:37:19	説明、
00:37:21	設計説明分類、中段のところに、資料、
00:37:26	1 (2) の、なったこういう分類、何だ、同一の、
00:37:34	適合状態の
00:37:38	の番号とかってそういうようなことで、書いてもらえれば、注記でいいんですけど書いていただくとかっていうことかなと。
00:37:45	思います。
00:37:54	はい、与儀西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。我々が考えなきゃいけないときのご意見、ご意見いただきましてありがとうございます。はい。衛藤。
00:38:05	なるべくわかり流れるように、定義ができるというのを目指してやりたいと思います
00:38:12	はい。
00:38:13	で、共通住民のこれまでの議論はそれよりももっと細かくてですね。
00:38:18	その設計方針の中でより具体的に物を作るために明確にしなきゃいけないと。
00:38:26	いう設計方針を
00:38:29	分解していったところ、これとこれは説明の仕方違いますよねと。
00:38:34	というのがあって、それで、ここ類型を分けてきたと。
00:38:41	ということで、例えば
00:38:45	飛来物防護
00:38:47	版であっても、こういうパターン、コンクリート等いった鉄鋼構成では違いますよねだったり、構成でもこういう取り付け方によって違いますよねだったり、
00:39:00	ということで説明を分けるようにしてきたわけで、
00:39:04	層厚の考え方っていうのを今のでは、まだ分け切れてないと。
00:39:10	いうところだと思うんですけど、それは、どこで分けるんですって。つけ。
00:39:20	3まで。
00:39:22	資料2では見えない。
00:39:27	あ、どうぞ。
00:39:28	はい。

00:39:31	谷津さんの中じゃないです 3 筆分かれるのは 2 で分かれないと、3 人来ない
00:39:36	よメジャーです。はい。
00:39:40	もともと考えてたのが資料 2 のところで、その分類額の違いであったりというところを持ち込もうと思ってました。Y や 7 ページでも書ききれてないところがありますので、
00:39:54	これを基本設計方針を展開する設計添付トイレの設計方針を見ながら、
00:40:01	どういう構造のものがあって、それとの関係で、ここで分けるべきものがないのかというところを整理をする必要があると思います。今の状態でいきますと資料 3 まで行ってまた戻ってくると。
00:40:13	いうことになるのかなという気はしますが、そういうことにならないように、なるべく資料 2 のところでそういった分類学も含めて整理ができるように、ちょっと考えたいと思います。以上です。
00:40:24	はい、古作です。資料 2 の一番右欄は、そういったところでの制度でまとめて行って、これで書いた項目ごとに、資料 3 が作られると。
00:40:37	いうことと理解をしますので、よろしくお願いします。そうすると、今の
00:40:45	設計説明項目、
00:40:47	本部、
00:40:48	でしたっけ。そう。それは資料 2 だとどういう形になるんでしたっけ。
00:41:00	どういう方。
00:41:03	はい。日本レジャーでございます。すいません私が今、古作されると上手くキャッチアップできませんでした。どういった資料にね
00:41:12	項目はどこに書いてありますか。
00:41:17	はい、宮城西浦でございます。そういう意味でいくと、今先ほど私がまだ記載が足りないなと思ったのは 7 ページの設計分類の考え方のところをちゃんと書かないと、そこに行き着かないので、
00:41:28	この記載を拡充することが必要だと思います。ここはあくまでリーディングみたいな文章にしかなくてないので、一番右をはじき出すために、ここで分類に効いてくるような設計を市があるのかなのかと。
00:41:44	いうところを展開する必要があると思います。以上です
00:41:47	僕ですそれで言うと、今右カラー
00:41:51	3 番目 4 番目のところが設計分類で、

00:41:55	その間に説明、設計説明分類はなく、
00:41:59	最終的に資料3に繋がる。
00:42:03	もう言葉が入るようになっていて、そのLanger。
00:42:09	ちょっとすみません、小さくて見えないので、
00:42:13	A設計説明分類ってなってるんですよ。
00:42:17	はい。
00:42:19	で、
00:42:21	その制度等設計説明分類と、さっき言ったその資料2で、同じ種類のものと、
00:42:27	いうものとは、
00:42:29	直接合致しないんですよ。
00:42:33	はい。
00:42:34	ていうところにずれがあって、
00:42:37	大丈夫かなって感じがするんだと思います。
00:42:41	そこまで読み込んだ上で指摘してたわけじゃないんですけど、
00:42:52	はい、梅田でございます。はいその問題点は認識をしました
00:42:58	そうですね。大分、一番右を意識しながら左側を作り込むというところもなきにしもあらずなので、しっかりとどういうものが実際物がわかっているものがあるはずで、
00:43:09	それを見ながら、どういう単位で説明をするのが一番適切なのかというのを考えるのは、こちらが本来やらないといけないところ。
00:43:19	それをはじき出すために必要な情報ってのは一体何なのかと、どこをどう見に行けば、それが認識できるのかというのがちゃんとわかるように、この資料2を作るとのことかだと思います。はい。
00:43:32	はい、古作です。少なくとも、各条ごとに、この資料はつくられていて、
00:43:41	紙資料3のところ、各条、その種類のものについて束ねられて、必要なものを束ねて説明していくと。
00:43:52	いう体系等はこれまでの説明から変わってなくて、その類型をなるべく合理的な言葉にしたいということで言われてたんだと。
00:44:04	思いますので、
00:44:06	あまり書く上同じ言葉にしようっていう、実はそんなに努力しなくても、

00:44:12	資料3 その各条のどれが、この項目ぶら下がりますよねと。
00:44:19	というのはチェックできるので、
00:44:22	あんまり無理しなくてもそのままバー。
00:44:25	これまでの整理のままやってもこちらは見れるんじゃないかなという気はしますけど。
00:44:33	はい。二本木ネシアでございますはい。ありがとうございます。はい。ちょっと大分欲張り過ぎた変わるのはい。そこは整理をしていきたいと思えます。はい。
00:44:44	はい。補足です。その上で、先ほどお話したように、まずこの項目は、主要条文、
00:44:55	を中心にしながら関連条文も併せて説明しますというコンセプトなので、使用条文での要望を、
00:45:03	基本にされるんだろーうなど。
00:45:05	思ってます。で、その上で、関連条文として、これは大きく分けなきゃいけないねと、資料3を二つに分けなきゃいけないねと。
00:45:15	いうことであればその分ける趣旨みたいなのがわかる用語を追加しないといけない。
00:45:20	いうことだと思います。であれ、一方です。一つのグループの中でケース分けで書けばいいということであれば、そのグループについて要望を新たに考える必要はないと。
00:45:32	ということなので、
00:45:35	複数関連条文をまとめていくにあたって、一つのみまでいくのか分けるのかといったところの整理をしていただけたらいいかなと。
00:45:45	それによって、要望ということだと思います
00:45:48	が、いかがでしょう。
00:45:51	はい。日本原燃志田でございますはい。ご趣旨を取りかえをしましておっしゃっていただいたように、閉じ込めを例えば市場分だと言え、閉じ込めの設計を説明する上に、必要な分類
00:46:05	して、そこに対して関連常務例えばグローブボックスという部分。
00:46:11	にそこに対して、耐震でいうSとBというのを分けて書く必要があるのか、六つの地震力に対して耐える設計するんだというのであれば、
00:46:21	グローボックスの設計の中のSとBの分類になるだけ、要は中で、項目の場合が出てくるだけという整理をすれば、

00:46:31	あまり幾つも条文ごとにバイブル連絡を持ち込まなくても、設計としての説明は抜け漏れなくできるんじゃないのかと思います。例整理をさせていただきますかと思っております。以上です。
00:46:45	はい。補足ですここまでで
00:46:50	わからなかったことなり何なりある方が他にいましたら、
00:46:55	お願いします。
00:47:02	古作です規制庁側なさそうですけど、石黒さん、今村さんはここまではついてきてますか。
00:47:17	日本原燃今村です。最初分かったつもりでですね、ヒアリングに臨んだんですけれども、議論のスピードに若干ついていけず、ちょっと頭が今、
00:47:29	少し、
00:47:30	整理がついてないような状態というのが実態でございます。また大戸終わった後ですね、きちんと頭の整理をして、キャッチアップしてですね、再処理の方も
00:47:41	このことも考えながらやっていきたいと思っております以上です。
00:47:52	は、すみません関西電力の石黒です。ちょっと話しながら、ちょっと私も今もらうと、
00:48:00	このような状況ではあります。ただですねちょっと
00:48:03	資料2の書き方でいろいろ議論があって石原さんの方から、をしたいしたいってことは言っていたところ。
00:48:14	これちょっと私の
00:48:17	例えば頭でついていけるような資料にすることがわかりやすいことになるのかなというふうにとらえながら思ったので、
00:48:27	しっかりと石原さんに頼るのではなくてですね。
00:48:33	私なり、今村なりの、
00:48:36	理解で説明できるような形にする必要があるかなと思った次第ですちょっと具体的な話でやって申し訳ないんですけどちょっと、そのように感じた次第です以上です。
00:48:48	はい。石黒さんの言われた通り名なので、今の時点で、資料を提示してるから説明できるだろうって。

00:49:00	言うと、言いにくくなっちゃうので、あそこはそういう作りしませんから、現状で或いは今の話の中で自分としてよくわからないことだったり、
00:49:11	こういうふうにした方がいいんじゃないかという思いだったりっていうのがあれば言ってもらえませんか。
00:49:25	ちょっと割ったC。
00:49:29	としてはですね、
00:49:32	ちょっと
00:49:35	特によくわからなかったところがですね、
00:49:39	7ページの右側の設計説明分類のところ、
00:49:46	石原さんがちょっと欲張っていろいろ書き過ぎたかなあというようなことをおっしゃっていて、おそらくですけど、
00:49:58	なんていうか、
00:50:01	資料の構成を流そうとしようとするれば、
00:50:05	そのときはそんな指標とするあまりですね。
00:50:08	どんどんこう、
00:50:11	余計な情報も、
00:50:13	まとまりついてくるような、
00:50:15	ことになってきているのかなと、討論ながら感じてい。
00:50:19	なのでですね、ちょっと資料をよく見て、
00:50:23	シンプルにできるところはシンプルにするっていう、
00:50:26	ところが大事なのかなと思いましたんでちょっと個別の具体議会の方にまで踏み込めなくて申し訳ないんですけど、
00:50:33	そういう感じ。
00:50:36	はい、古作です。
00:50:39	ここまで話をした結果として改めて7ページを見ると、
00:50:44	これまで再処理で一生懸命この後の図、これ今後言う資料3のところを作り込んでそれをつくり込めるように、
00:50:54	どう、この資料2のところを分割していけばいいかと、いうことをやってきた経験から、MOXでも反映して作られているので、
00:51:04	改めて見ると、欲張って細かく書き過ぎたということではないんですよ。
00:51:10	説明の仕方が悪かっただけで、

00:51:13	例えば7ページの縦軸、右の一番右の説明、設計説明分類の縦軸純分順番に見ていくと、
00:51:25	まずはグローボックスですということでそれのうちの配置の方で説明しますと、
00:51:32	有効項目だということ、次は構造で説明しますということ
00:51:37	で次はオープンポートボックスですと、
00:51:39	オープンポートボックスはグローボックスとは別に、機能要求レベルが違うので別で説明しますと、
00:51:47	ということで分けられていて、風土も同じように分けられていてと。
00:51:51	ということ、風土風土自体は構造も違うしっていう、
00:51:56	分けていてと。
00:51:58	ということなので、
00:52:01	最初にお話したシステム設計構造設計配置設計というのは、具体を説明するにはどうしても分けなきゃいけないと。
00:52:09	ということで、それも、どの項目はどこで説明しますっていうリンクを貼るということから、この程度の記載、記載の仕方はちょっと考えようがあるかもしれないですけど、
00:52:20	この程度の精度で書く必要あるんじゃないのかなと。
00:52:24	いうふうには思います。
00:52:26	その上さっき説明したように資料3を作り込む中で、束ねた方がいいものを分けた方がいいものということを精査をした上で、書き込んでいただきたいと。
00:52:38	ということ等でお考えいただいたらいいかと。
00:52:48	了解しました。確かにおっしゃるように、資料2の各項目、
00:52:55	に記載している程度感が、以下多すぎるっていうと、1そうではないのかなというのでそこはそのように理解をします。
00:53:07	この場で言うかどうかちょっとあれなんですけどちょっと正直私がこの資料を提出する時に見ながら、
00:53:16	これをしっかり作り込むとなると、悩ましくなるんじゃないかなと思ったのが、10ページの
00:53:27	右側の右半分のところ構造設計ということで、
00:53:32	各いろんなグローボックス本体とか、
00:53:38	ちょっと字がつくついてないけど、

00:53:43	何とか部とか、ファン室入口とかっていう各項目があって、
00:53:47	この辺の説明の、
00:53:50	一応十分性というのをどう説明するのかなといったところが、
00:53:55	個人契約悩ましいかなというふうに思ってます、
00:53:59	それが資料2の、
00:54:02	セイリガクの中で、
00:54:05	出てくる。
00:54:06	1年で出てくるものでは多分ないと思うので、
00:54:10	この辺の説明性を、
00:54:12	どう担保するのかなっていうところが、
00:54:14	どっち個人的難しいかなというふうに思った次第にして、
00:54:19	そこをちょっと、
00:54:21	またちょっと、次回、次回はないかどうかわかんないんですけど、
00:54:26	この資料の整理とあわせて、
00:54:29	どう説明していくかっていうところは少し頭悩ましたいかなと思っており ます。
00:54:35	以上です。
00:54:36	はい。補足です。まさにそういうことなんですよ。これまでは、原燃の 担当者は、
00:54:45	それまで個人で思っ個人でってちょっと語弊があるかもしれないです けど、自分たちで思っていたことをただ書いてあるだけけど、
00:54:54	それが説明し切れてるかどうかをあまり考えてなかったということで、 出てきてこちらからは、これだと説明がつかませんよと。
00:55:03	こっちとこっちでそごがありますよってあったり、こっちの条文との対 応でずれがあってうまくはまりませんよだったりと、
00:55:12	いうことの話があって、もうちょっと書かなきゃだったり、再検討しな きゃだったりっていうのが出てきたと、ということなので、
00:55:21	これを端的に書けるんだったらそれはもう変えてるんですけど、
00:55:25	そういうのを検討しなきゃいけないっていうので今のタスクが立ち上 がってルーのを理解いただけたということだと思います。なので、しっか りと検討してですね、説明し切れるなんていうものにしていただ きたいと。
00:55:41	思います。で、今少しお話したように、1条文だけではとても

00:55:48	十分かどうかわからないんですよ。
00:55:50	なので、資料3に行って、
00:55:54	ここの部分を各条文それぞれ並べてみて、バッティングするところがないかと。
00:56:01	ということなりを見て
00:56:04	その調整まで含めて説明が十分かということを確認していただければと思います。
00:56:14	関西電力の石黒です。趣旨は、はい。理解です。ちょっとどこまでできるかっていうところはどうしてもついてあると思いますので、そこは引き続き。はい。しっかりと、
00:56:25	説明責任を果たせるようにしたい。
00:56:28	できればと思います。以上です。
00:56:30	はい、古作ですよろしく申し上げます。どこまでっていう関係だと次なのか、
00:56:37	具体的に話をしていく中で
00:56:42	規制庁側が求める説明レベルといったところは体感していただけないかと思うので、そのときに、なるべく早く着地点が見つけれられるように、
00:56:54	自分たちの中で検討を深めて、
00:57:03	連絡の手段として、そういった
00:57:09	はい、補足ですってそうした後、どこまで話をしたこと、
00:57:20	私のパソコンがなぜかフリーズ。
00:57:25	衛藤。
00:57:27	石沢でございます甲斐さんの。
00:57:29	7ページ後に一定レベルを持っておられるから、資料2のところ整理、資料3も踏まえながらというところまで、
00:57:37	話をさせていただいたと思います。
00:57:44	資料3のところはさっき石黒さんからあった通り、10ページとかにもページがありますが、設計のところを、
00:57:54	添付書類等の設計方針と紐づけながら抜け漏れなく数、必要なものをしっかり会計を、
00:58:02	ということが必要になると思ってます。
00:58:05	ここが済みそうだなと思っていなかったという
00:58:10	はい。

00:58:11	で、もうそれぞれリンクを張ってひもづけるということ、その番号が全部引き継がれて展開されていくということで整理をしようと思っております。
00:58:23	ということでございます。
00:58:25	はい。
00:58:26	はい。補足です。資料3でございますね先ほど言ったように、このグループの中にはAもB値もBもBさんを、
00:58:35	入ってるんだと思うんですね。
00:58:37	で、そういう関係から、キー認可からの変更点と、
00:58:43	いう欄があって、Bの関係での説明ポイントを明確にしたいということだと思っておりますけどそこはそうですよね。
00:58:53	はい、日本エリアでございますはい。おっしゃっていただいている通りでございます。
00:58:58	はい。補足です。なので
00:59:01	この表だけじゃなくて次の図面とかでもですね、そういったところは注意して説明はされると。
00:59:07	ということで理解をしていますので、そのB、Bの中でも1なんか2なのか3なのかで、説明レベル違うでしょうからそこも、よりわかりやすく書いていただければと。
00:59:22	はい。日本原燃志賀でございます。はい。承知いたしました。どりで書いてないのが出ちゃってるので。はい。そこも含めてしっかりと説明で、リンクを飛ばしたり、させていただきますし、
00:59:33	B値だったりBだったり、もう欄の項目ごとにやはり説明しないといけない、対象が違いますのでそこを意識して、しっかりと説明を展開させていただきます。
00:59:45	はい。
00:59:53	はい、古作です。で、ここまできてこれまでの違いで言うと、システムは明示的に言ってなかった、構造設計だけでなくシステム設計配置設計と、
01:00:06	いうのを分けながら、説明しますということと、それを、
01:00:13	と、
01:00:15	資料2でしたかね。
01:00:18	結果として、

01:00:20	2のところわかるように、関連性わかるようにして説明漏れがないようにすると。
01:00:26	いうこと。
01:00:28	あとは、
01:00:35	再処理の、はい。
01:00:38	考慮としては変更点というのを明確にしていって、それに関連するところっていうので絞り込むというやり方について説明されたと。
01:00:48	というのがこれまでプラスアルファということかなと思います。OKですと。
01:00:54	それぐらいでいいですかね。
01:00:58	はい、弓削新倉でございます。はい。おっしゃっていただいた通りですいませんはい、説明がつかなく申し訳ないですはいありがとうございます。
01:01:08	規制庁側、他の資料確認したいこと。
01:01:19	はい。室長の田尻です。今の話に与えてみて赤塚 SE、例えば 63 から 49 ページとか構造設計のところを書いてあってそのあと既認可からの変更点が書かれてはいると思ってるんですけど、
01:01:33	ここってというのは、図面とかでそこらのところが言及されてると思えばいいんですかね。ここは結局、今どこに使ってます。
01:01:49	はい。日本原燃新屋でございますちょっと資料が分割されてしまったような所、あれですけど 54 ページとかが、変更点の図面になります。
01:01:59	これも条文と基本的方針の番号をです、ひもづけて、
01:02:05	整理を紐付けていこうと思ってます。
01:02:10	あとは、
01:02:13	終わり
01:02:15	これが、図面でいくと番号がついてないと。
01:02:21	これってこの番号ってどこにつく。
01:02:26	あのね、これ紐付けないと分かんない。
01:02:29	はい日本 A 社でございます反対恐縮でございますおっしゃっていただいたようにパッと見繋がらないので 49 ページで書いているところの、
01:02:38	気に入くわの変更って、図面は 54 ページとかにつけてはいますけど実際図面がついたときにリンクが飛ばないと、ここ見にいかないの、どこ紐付けをさせていただき、

01:02:49	今、
01:02:51	鳥居さん。
01:02:55	図面なりにリンクが張られて、図面とそういうところの仕様を変えたんですよとかって見れるようになって、
01:03:00	理解しました。
01:03:05	古作です。今みたいなのはですね、
01:03:09	まず、
01:03:10	エンジン、
01:03:12	チームでチェックできるはずなんです機械的にやれるので、
01:03:17	飛んでないものは、
01:03:19	鳥羽氏が甲斐ちゃんを書いてないものはどこに関係するんだろうと見なおして、リンクを貼ると。
01:03:26	いう作業を漏れなくして、
01:03:29	漏れなくしていることを、フェアリングチームは確認をしと。
01:03:34	ということですけど、そこは実施できますか。
01:03:40	はい。乳井技師者でございますはい。
01:03:44	そもそもからいくとしてやっていただいていることはしないとイケないと思ってますし、今回の資料でいきますと、私が
01:03:55	こういう大枠方針で資料を作りたい作りということを掲げて、そこでは、おっしゃっていただいた部分も、ちゃんと図面をつけただけでは何度紐づいているかわからないので、
01:04:07	リンクを貼って、それぞれ5月条文が跨る場合でも条文間のひもづけとか、そういうところをやらないと、どれとどれが関係してるかがわからないよねと。
01:04:18	そういうものをちゃんと丁寧に紐づけてやるんだという方針を掲げたにもかかわらずそのチェックが私ができなかったのが悪かったと思っます。はい。
01:04:27	古作です。最終はそうなんですけど、
01:04:32	Steering チームが全部チェックするのは無理なので、ちゃんとその手前の
01:04:37	エンジンチームが、一つ一つしっかりやると。
01:04:41	でそのしっかりやってるさまを見ることによって、全部自分でチェックしなくても大丈夫なように作業が進むということだと思いますので、

01:04:50	今の話であれば、12 ページに、こういうふう作業しましょうねと。
01:04:55	いう作業指示書みたいなものがあるんで、
01:04:59	そういったことでチェック項目をちゃんと整理をし、エンジンチームが実行すると。
01:05:04	いうことだと思いますからしっかりと指示をしていただければと思います。
01:05:11	はい、与儀新田でございます。はい。ありがとうございます。はい。対応としてはそういうこと。
01:05:18	でございます。
01:05:22	所がすげえなアウト、やばい。
01:05:25	はい古作です。13 ページもうあの例示で書いてるのがまだ、今の時点で中途半端な記載の例示でそのまま書かれちゃったような気がするので、
01:05:37	感染計を指示書のときにはしっかりと書いて誤解のないようにしていただいたらいい。
01:05:48	はい。与儀入沢でございます。はい、ありがとうございます。はい。
01:05:52	今日は、すいません。3 時までとお伺いしているので、はい、古作です。はい。なのでちょっと次に行かせてもらいますけど、今後の進め方っていうところは、
01:06:05	今の話からの続きになると思うんですけど、
01:06:09	今の感じからするとこんなんでも本当に提出ヒアリング進められるのかっていうのが疑問なんですけどどうなんでしょう。
01:06:16	はい。弓削西原でございます。はい。ちょっとここ、態度を検討します。
01:06:24	やりたいことはおっしゃっていただいて今日のやつを全部反映しないといけないということと、あと方向性なり何なり全部の増分にローラーをかけるのは、
01:06:34	多少なりともリスクが伴う可能性もあるので、そこも含めて、とはいえ、やっぱり今日話をさせていただいてもサンプル 1 条文ではとてもじゃないですけど、
01:06:45	本当にいいのってというのがわからんので、条文を複数準備してかつ、こういう整理し紐付けができ、整理が
01:06:59	これ 27、

01:07:07	ということでヒアリングのスケジュールなりで今、共通 12 で、いきなり次 16 日に資料をパッケージいたしますと書いてますが、この間にアクション
01:07:18	挟ませていただきたいと思います。そいで、どこも含めて進め方は、再度提出をさせていただこうと思います。今後の作業を進めながら、来、
01:07:29	この朝日や 1 週間に 1 回をめどにということで考えてますので次連休明けまた再度を合わさせていただきますが、そのときに、進め方もう一度をかけさせていただければと思ってました。以上です。
01:07:43	はい、古作です。それで、
01:07:46	共通 12 の MOX 閉じ込めのところだけでもヒアリングが 6 月までかかると。
01:07:52	いうことだとすると、5 月は会合をやるつもりがないっていいですか。
01:08:00	はい、日本エネ者でございます。はい。
01:08:05	このスケジュール感でというのが多分、家に足のついた形で、
01:08:10	ので、そう考えますと 5 月の関係は、とてもじゃないけどないかなと思ってました。はい。
01:08:16	はい、古作ですわかりました。で、この最初の 00 は何ですか。
01:08:23	はい。日本原燃石原でございます共通で 2 が 2-1 でいきますと、MOX1 ポツをやらないといけない条文もありますので、そこをやらせていただこうと思ってました。はい。
01:08:37	古作です。わかりましたあまり労力かからないと思いますので、この点は早くやっておかないと共通 12 の入口に立てないので、それは最優先ということで理解をしました。
01:08:50	A と PPSG の相互影響っていうのは、これは前カラー生活でた部分ですけど、10 日提出ということ等、
01:09:00	なんです、これも
01:09:02	ちゃんと心送った資料の提出なのかってのはちょっと気になるので、状況はい。
01:09:09	行きたいんですけど。
01:09:13	はい。
01:09:14	弓削ネシアでございます。はい。

01:09:17	まず、この家中のところですけども、一つのパーツとしては、前回共通8-2D添付14として付けていたものをの、
01:09:30	配置情報とかそれぞれの総合、それぞれの設備の設計要求なりを並べてページ打っていくと。
01:09:38	ということ、要求事項を整理していくということを、まずね、一つは考えてました。
01:09:44	プラス参考に今つけてますが、設工認の、今回の設備の設計を、これだという、今回の設計を確定するために、
01:09:58	必要なSD設備なりの設計条件が何かということ、それぞれの内包設計条件じゃないかということで整理をして、機器ごとに示そうかなというのを考えてました。
01:10:12	というのを、2本柱にして、
01:10:17	ああいう中としてお出しをしようと思ってました
01:10:21	と、私の頭がちょっと混乱しているので、相談したかったのは一つは例の影響評価の書類みたいな確認ですねそれは別に与党認識をして、ああいう中とは切り離して、
01:10:33	あいうえおのパートを使いながらかつ影響を確認した結果としてお出しをしないといけないかなと思ってたんですけどそういう認識でまだよかったですかということの確認をしたかったというのが、
01:10:44	今日あります。あとは、SSSの面談は別途当然ながらやらせていただくということを前提にその相関関係をちょっとちゃんと整理をセンターかなと思ってたところでした。以上です。
01:10:55	はい、古作です私のイメージわあ、ああいう中の添付っていう形。
01:11:01	切り分けができるようなまとまりでと。
01:11:05	いう。
01:11:07	意識でした。で、今日出てきてる2ページ目以降は面談でやればいいもの。
01:11:14	いう理解でいて、これもブラシ、もうちょっと、
01:11:18	いろいろ考えながら、
01:11:20	情報を入れてもらわなきゃいけないなと思うんですけど、これ、ここだけで話してもしょうがないので、これにちょっと、
01:11:28	色をつけたぐらいのものでさっさと面談をして、必要事項というのを特定していくというアクションを早々にした方がいいかなと。

01:11:37	面談の方はそう思って、
01:11:40	はい、二本木西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。そういう形で、進めさせていただきたいと思います。はい。はい。補足です。影響評価書の方もですね、
01:11:53	今週の委員会で評価の視点っていうのもテキストの形で提示しましたので、それも踏まえながら、たたき台でいいので、早々に作って提示をいただいて、
01:12:06	それをもうちょっとこの時点もとかっていうのを議論していければと思いますんで、提出よろしくお願ひします。はい。
01:12:14	はい。与儀西浦でございます。はい、ありがとうございます。はい、承知いたしました。
01:12:23	古作です今後の進め方まで他、よろしいですか。
01:12:27	規制庁谷です。この今後の進め方で示されてるやつって、耐震は別途次のやつでやるから、それ以外ってまず梅田さんです。
01:12:36	はい逃げネシアでございますそう説明もしられる申し上げ、サイジンは5本の後にやるやつで、示しをしようと思ってますがそれ以外にあるという意味です。はい、わかりました。
01:12:48	はい、古作ですじゃあ、耐震の方ですけど何か原因を説明することありますか。
01:12:54	ちょっと時間がないのであれですけど。
01:12:57	3ヶ月でございます。投稿しましたらですねちょっと全体に何ができるかだけを1本ぐらいで、まず1ポツのところはももとの在法人としての検討費。
01:13:08	これ審査会合で示してるもの入っているでそういうもんであるということでご覧いただければということでございます。
01:13:14	2-1と2-2は、審査会合なりでいただいている宿題ですとか我々創設後になっているパーッ方これの並びでございます。
01:13:24	2月の方が良い話2番の方が、会合でいただいた、その説明の説明規模ということござい。
01:13:31	それを踏まえた今後のそれをさぼっておりまして全体として本とSTEP IIに分けてやろうと思ってます。
01:13:40	不安の方では、評価結果モデルとしてのそのヨンイチイ野瀬に対する、

01:13:45	後でよう作りますけども、何が良かってそれぞれの説明概要を書いていますけれども、このこの場です出したデータからですね影響度が一番大きいものがあるれば、比較できるものもあると。
01:13:58	ということで、結論から申し上げますと、このうちですねちょっと影響が大きいですね岩盤の減衰定数、それからめくっていただきたいというのは、そんなことです。
01:14:09	4番目では次に表層地盤の地盤固定を説明させていただいて、残りの井戸野呂、これを
01:14:16	藪校の順番で、順次、田尾滝下が説明したいというのが我々、
01:14:24	ではそれを
01:14:28	今度は設計でどのような
01:14:32	このホテルを
01:14:34	いうところの議論ですけれども、ステップで見ました。この結果を踏まえて座間モデルをも踏まえて、FTのモデルとして、弊社もうすでに我々何かもう申請してるわけですので、
01:14:50	ところの工学的な妥当性というのを、
01:14:53	説明立ち上げるというのが次のステップかなと思っております。
01:14:56	今併せまして、建物構築物の入力時における表層地盤の取り扱いのベースの考え方、それを踏まえた設計条件として、表記は考慮まで考慮することこれコメントに、コメントあります。
01:15:10	事項ですけども、これにつきましてはこのステップ、
01:15:14	いうことを考えてございます。
01:15:16	えっとですね、ない。それでですね、全体にですね、そのとか矢田猪狩先生との整合については、鉄骨のところでは整理はしようと思うんですけども、
01:15:29	この CHASTE%のところでご説明した方がわかり良いといえますかおそらく、こちらからもご説明しやすいというものの中にはございますので、そこはですね鉄板で、
01:15:40	9名を下回るものは入れ、採決
01:15:44	別の回収すると、いう形で説明させていただきたいと思って、
01:15:48	以上でございます。
01:15:51	古作ですすみません、ちょっと通信状態が厳しい感じもこちらも出てきたので、資料もう2ページで、大したものではない。すみません。

01:16:02	ちょっと口が滑りました。2 ページで物量内の画面共有を止めて、音声で対応できればと思います。
01:16:19	古作です。資料としては1 ページ目はこれまで話をしていたことが繰り返し書かれている。
01:16:27	だけなところもほとんどなので、大枠でいうとステップワンとステップツーに分けるとというのがどういう、
01:16:36	それで成り立つのかどうかというようなことと、さらにステップ案の中も順番にみたいなことになってたりもするので、そういった進め方のポイント等あとはその注意事項なりで、
01:16:50	11 番留意事項ですか。
01:16:51	というようなところの対応だったりということかと思いますが、それ
01:16:59	規制庁上出ですけど。
01:17:05	ステップ一位。
01:17:08	で、まずは、
01:17:10	分析をしつつ、結局、じゃあ何を使いますかってのがステップ2 だと。
01:17:16	事になると、ステップ 1D 高校ですね、例えば減衰だと、どうも 2% の方はなさそうだとか、3% でもいいんじゃないかとかっていう、
01:17:27	いろいろあるんでしょうけど、
01:17:29	結局設計にどっちつかの、何を使うのっていう話をしないうちは、我々としてはフーンて話を聞くだけなイメージを持ってるんです。
01:17:40	けど、そういう話の進め方になっちゃうことは、現状は許容できるんですか。
01:17:48	はい。関西電力の方でございます。まずステップ案では我々からそのこの妥当性に係る材料をご提示しますので、その材料をご覧になりまして、事実関係を確認いただく。それから測定のものがあるんじゃないかと。
01:18:04	というようなお席あればいただくということで、先ほど最終的なですね第 1 のところは、別府に行くから鉄板のところでは村長基幹職になるねとおっしゃってたんですけども、それはそういうことかというふうに我々も思っており、
01:18:16	以上です。
01:18:18	はい。規制庁可児です。わかりました。その程度の話から進めるということであれば

01:18:26	何だろう、要は、ステップ1で何かお互いこうこうだねって共通認識に至ること策なり、
01:18:34	なんだけど、一遍に説明をしてもしょうがないから、まずは導入のところで話をしますと、
01:18:41	いう方針と聞いておきますけれども、
01:18:43	大丈夫ですか
01:18:47	関西電力、野本でございます。町全般ではですねリスク関係の認識が合ってるかどうかと、いうこととこういうですね議論に対して代表が十分であるかということそれぞれの因子に対して業務議論させていただきたいと。
01:19:01	ということでお受けとめいただければと思います。以上です。
01:19:05	はい。規制庁上出です。
01:19:08	同1ページ目っていう、2-2。
01:19:12	審査会合でお伝えしたABCの観点っていう話は、
01:19:18	これはステップ1では話ができないのか、何かする。
01:19:26	ステップ1でAとBは説明をしステップ2でCを説明する。
01:19:32	いうふうになってございます。
01:19:39	はい。規制庁亀井です。本、
01:19:42	Aでいうと、認可以降、追加したものを含まなくて、
01:19:48	いいが、
01:19:52	ステップ1で説明できるのか。
01:19:58	ちょっとここは何かステップ1の説明範囲で、そのAぽつなりBポツの、
01:20:05	我々の問題意識は完全にクリアになるのかっていうのは、現状を、
01:20:11	この資料だけじゃよくわからない。
01:20:13	んですけど、原燃としては、そこは何だろう
01:20:17	説明をすると。
01:20:19	結局はステップ2であわせてになっちゃうのかっていうとこんな感じで思ってます。
01:20:28	赤は出るものでございます。できて、これエポックもBポツ、
01:20:32	に書いてある。

01:20:33	ピンクでですねそれぞれの、ろうナビ新名と一緒に説明差し上げると いうのが、この御説明としては整理が良いのではないかとということで これを案を提示してございます。
01:20:44	それで両方が説明があるかどうかというようなご提示したもので、規制 庁さんのご判断だ。
01:20:50	ので、それでちょっと出てきたもので議論をさせていただければという ことかというふうには、認識でございます。以上です。古作です結局最 初に上出が言ったことになると思うんですけど、
01:21:01	まずデータとしては最初のステップ案で出していただいて、それがそれ を踏まえて、どういうものを使っていけばいいのかという話はステップ ツー、
01:21:12	もう踏まえないと、認識共有ってのはできないよねっていうことにな ると、
01:21:18	いうふうに思いますがまずは出していただいてということで、我々が何 でそう言ってるかっていうことも、ステップ案での話の中で、
01:21:28	ご認識いただけるんじゃないかなと。
01:21:30	いうふうに思いますが、神谷さんどうですか。
01:21:34	はい。規制庁神戸です。
01:21:36	そうですね。ステップ1のタイミングで、例えばポツの話も、主張をし てもらえれば、それに対してこういう
01:22:00	関西電力野元でございます。ちょっと説明が乱暴で乱暴だったところが あって非常に申し訳なかったんですけども、えっとですね今ご理解い ただいた通りのところではある。
01:22:12	ありまして、ステップワンでですね何を使うかと、要はってことにを送 るんですけども、まず、この考え方はですね、まずステップ案で、
01:22:25	それぞれの因子に対して、この前の楽でもお話しておりましたあるべき 姿と、いうようなところを、すいませんちょっとあれ、すいません。
01:22:38	あるべき姿をまず我々設定しないといけないというふうには思ってお りますので、それをですねそれぞれの委員に対して、お出ししていくとい うのが必要だというふうには考えているところでございます。
01:22:53	で、規制庁岡部そうですねあるべき姿をもとに、このですね手で用いる ものをステップ数で議論させていただくというのが必要ではないかとい うふうに考えてこの順番をご提示させていただいたこと。

01:23:06	<p>というような考え方に基づくものでございまして、すみませんちょっと今乱暴なちょっと説明しましたので飛んでしまって申し訳ありませんでした。以上でございます。</p>
01:23:16	<p>はい。規制庁深見です。あと、私から最後にしますけど、時期が</p>
01:23:23	<p>①の5月10日提出。</p>
01:23:25	<p>ていうのだけ入っていて、それ以外の者がいつ、</p>
01:23:32	<p>ステップ2に関しては、完全に</p>
01:23:35	<p>ステップ1の関係でもどう進めていくのかっていうのが、この資料で</p>
01:23:44	<p>はい関西電力の方でございまして。えっとですねこれはそれほど時間を置かずにですね、①②③の説明順番がありますけれども、それぞれ1週間か2週間遅れずつぐらいですね</p>
01:23:58	<p>現場に出してきたらなというのを目論んでおります。</p>
01:24:02	<p>ただですねこれ後を出しする約束としてちょっとここに書かせていただくのは、まだ資料の作成が進んでるもんです。</p>
01:24:12	<p>そんなものがございまして。ちょっと時期尚早だということで、まずは第1回のもので、こちらはある程度めどが立っておりますのでお約束の形ではできるかなと思って5月10日というふうに書かせていただきました。</p>
01:24:23	<p>友田委員</p>
01:24:24	<p>でも、それほど時間置かずにですね、先ほど申し上げたようなインターバルで出していただくいければというふうに我々は考えているところでございます。以上です。</p>
01:24:34	<p>はい、規制庁深見です。そうすると、ステップ1を一通りなめるだけでも5月いっぱいにはまあかかるだろう。</p>
01:24:42	<p>ということで、さらにステップツー</p>
01:24:45	<p>は、6月です。</p>
01:24:49	<p>5月。</p>
01:24:49	<p>会合で、</p>
01:24:51	<p>地盤モデルってどんな話をして、</p>
01:24:58	<p>関西電力の方でございましてちょっと会合の戦略のことは私から申し上げていいのかどうかはあれなんですけれども、要するにこの検討だけで申し上げますと、</p>

01:25:11	このですね 010203 を刻んで会合というよりは、ある程度、松葉さんのフォローでそれはいただいた方が効率的じゃないかなというふうに感じるところではございます。
01:25:23	こちらはちょっと私がちょっとこれの決めるあれが持っていないので、またちょっと中に相談させていただければと思います。以上です。
01:25:33	はい。規制庁神です。その辺を、連休明けのこのヒアリングの時には、明確にお話ができるようにする
01:25:44	古作です。ちょっとですね、
01:25:48	いや、やるやらないみたいなところは、連休明けの商品がいつかもよくわからないところで、それだと遅いので、早々に G
01:25:59	議論をして連絡をしてください。
01:26:02	決得さんいいですかね。
01:26:05	しゃべれますかね。
01:26:12	はい、決得です。了解いたしました。早々に議論して回答させていただきます。
01:26:19	うん。
01:26:20	聞こえますでしょうか。大丈夫です。よろしくお願いします。はい。
01:26:29	規制庁横山です。本日予定した議題は以上となります。
01:26:33	どうぞ。
01:26:35	すいません。申し訳ありません。
01:26:49	b ポツのところで表層地盤。
01:26:53	会合でも指摘
01:26:56	資料の
01:27:03	一般の指示
01:27:04	について、
01:27:05	ヒアリングでは、
01:27:06	許可段階での
01:27:10	解析を物性値で、答申
01:27:13	上、
01:27:15	こういう設定になってるのかっていうような
01:27:17	細かい層を区分してそれぞれに合った様態とそれが深さ方向に大きくなって云々というような、説明があったかと思いますがそういった説明もですね、第 1 回申請も含めて、

01:27:28	説明は特になかったと記憶してます今回の平均地盤モデルの妥当性説明する上では、こういったところもですね、そういう考え方で細かくし時間も区分してどういうふうに値設定してっていうあたりは、
01:27:42	説明が
01:27:49	説明できるよう
01:27:54	趣旨の方は理解できました。
01:27:58	はい。関西電力の方でございます。岩盤の物性等のところに関しても深さ依存の検討というのがこれとものご趣旨に入っているのここおよそ地盤というふうを書くのはその一部しかとらえられてないよと。
01:28:11	要はご趣旨というふうに承りました。そうしますとですね次のページのですね表のところ、表層地盤だと思ったもんですから②の説明の業務版を2のところだけに、
01:28:24	と結びつけておりますけれども、ちょっとこれをですね色に結びつけたほうがいいのかどうかというのは、またちょっと内部でちょっと相談させていただいて、適切などころであわせて岩盤部分の作業の話も、
01:28:39	ご説明するように調整いたしたいと思います。以上です。
01:28:43	津野記者です。はい。
01:28:45	今組み立てつつある説明のロジック上ですね今言ったような説明が必要になってくるのかそれとも参考情報に
01:28:55	どういう位置付けの中で今お伝えしたようなことを説明するのかっていうのは、
01:29:00	ストーリーの整合っていうのも考えてですね、説明の場所ってのを検討していただければと思います。私の方からこの中で説明
01:29:11	情報としては
01:29:12	ちゃんと資料に盛り込んでくださいねという
01:29:18	形でご検討、
01:29:22	アカサ電力の元でございます承知いたしました。
01:29:29	長箱崎です。ちょっと似たような話になるかもしれませんが、
01:29:35	このステップIIのを、ごめんなさいステップ案の資料は、
01:29:40	項目で小松とか提出ってありますんで、これ基本的にですね結果のスペクトルの比較だけとかですねそういう話じゃなくて、
01:29:50	これまでヒアリングでも何度も言っていたんですけども、耐震

01:29:55	建物 08 の資料ですね、そこにいろんな解析条件だとか、所モデルの話だとかをですね、詳細に説明してくださいっていうことを言ってきました、事業者としては準備しますという話だったと思うんで、
01:30:08	さっき岸野からも話がありましたけれどもですね、単に結果を示すだけではなくて、モデルであったり条件について、
01:30:16	基本は耐震建物 08 のほうで説明を拡張してもらおうということで、準備してもらいたいと思いますよろしいですか。
01:30:27	浅井電力の持っています。すみませんちょっと確認させてください。今までお出しして私に建物 08 で、その検討の条件等が不足してるものがあったんでそれを拡充し、するということも併せてやりたいというコーヒーですか。
01:30:43	今の衛藤技術員の数の検討を出すにあたって工藤氏はちゃんとそのチームの中で、明記しなさいというご指示があって申し訳ありません。
01:30:55	規制庁は田崎です。逆にですね今現
01:31:00	水の所減衰の資料ってどういうものをイメージされてるのか、我々わかんないんですけども、直近であった資料みたいにですね、最終的な結果の比較だけで、
01:31:12	今まで考察もなかったんですけども、結果の説明だけではなくてその結果に至ったモデルであったり、解析条件についても、当然説明すべき項目というふうに考えてます。
01:31:24	そういったものを集大成したのが、耐震建物 08 ですので、最終的には耐震建物 08 のほうへ反映してくださいという意図です。
01:31:32	古作です。ちょっと補足すると、花岡いてあるのは減衰定数ですけど、基本全部書くのが筋だと思いますので、説明する。
01:31:44	範囲を細切れにするんだったら順々に拡充でも構いませんけど、最終的には一色説明できるようにということで、説明に至る情報が何かというのは、野本さんわかっておられるでしょうから、
01:31:58	順次進めてください。
01:32:01	はい。関西電力の尾野でございます。承知いたしました出すものについてはその根拠となるものそれから何か引っ張ったのかとか、そういう、浦野案といいますか。江藤場となってるデータも、

01:32:13	合わせてそれが妥当であるということがデータをご確認いただけるような情報とともにということだというふうに理解いたしまして、それは当然、手続きだと思います。
01:32:24	で、それぞれの御説明の場所で、結果だけでなく、その経過のデータについてもご説明したいと思います。以上です。
01:32:32	古作ですあと1点先ほど、野本さんの発言の中に、ステップ案であるべき姿というようなことを言われたんですけど、あるべき姿と言ってしまえば直下でということではかなくてですね。
01:32:45	そうであればいいんですけどそうじゃない場合でいうと、何らかその考え方っていうのを説明しなきゃいけない、その際にはステップツールなんかも含めないという話ができないんじゃないのかっていうのがこちらの考えです。
01:33:00	なので、ステップ案であるべき姿をきっちりとして、
01:33:05	当然あるべきは何かという認識は、
01:33:07	言っていたんですけど、それだけでクローズするわけじゃないと思いますので、あんまりそれに固執し過ぎても、進まないかなというふうには思っています。適宜対応お願いします
01:33:19	関西電力の方でございます。ありがとうございます。ステップのところであまり価値判断をやっぱり挟むような形で、とするのはよろしくない、私も思っておりますのでそういう意味でちょっとすいません。館をかけ判断を含むような表現して、
01:33:34	申し訳ありません。おっしゃる通りだと思います。よろしく願いいたします。
01:33:40	木曾横山です。規制庁が他に何かありますでしょうか。
01:33:47	武部。
01:33:48	本日予定している議題は以上となります。規制庁から連絡事項ありますでしょうか。
01:33:57	日本原燃から連絡事項はありますでしょうか。
01:34:02	井上西原でございます特にございません。今後の進め方も含め今日のヒアリング含めて再度整理をして提示をさせていただきます。以上です。
01:34:13	はい。規制庁横山です。それではこれで本日のヒアリングを終了します。
01:34:18	録音形します。

